

はじめに

私たちのふるさと栃木県は、雄大な山並みや清流、緑あふれる森林や里山に恵まれ、これらが織りなす四季折々の風景を随所に見ることができるなど、自然と身近に触れ合いながら、快適で心豊かに暮らせる環境にあります。

この自然豊かで美しい“とちぎ”の環境からの恵みを楽しむだけでなく、次の世代にしっかりと引き継ぐことを目的として、本年8月には、第2回「山の日」記念全国大会を本県那須町において開催し、多くの方に御参加いただいたところです。

私たちを取り巻く社会は、人口減少や少子高齢化の進行、急速な経済のグローバル化や地球環境問題等、時代の大きな変化の中にあり、それにより様々な課題も生じてきております。



環境問題は、地球規模での取組が求められる地球温暖化対策をはじめ、エネルギーや生物多様性の確保など多岐にわたり、これまでも増して積極的に取り組んでいかなければなりません。

中山間や農村地域においても、森林の荒廃に伴う水源涵養機能の低下、土砂災害の増大や野生鳥獣による農林産物被害などが生じており、地域の機能を維持し、活性化する取組が今後より一層求められる状況になっています。

本県では、平成28年3月に策定した「栃木県環境基本計画」に基づき、環境の現状や社会情勢を踏まえた環境課題への適切な対応、環境の保全と利活用、全ての主体との連携・協働による効果的な施策の実現を基本的考え方とし、「県民一人ひとりが夢や希望を持てる地域社会」を形成することを目標として、県民の皆様と一丸となって各種施策を積極的に展開しています。

この「栃木県環境白書」は、本県の環境の状況や平成28年度に県が実施した環境保全に関する施策等についてまとめたものです。本書を通して、県民の皆様が環境問題への理解を深め、環境基本計画で掲げた将来像、「守り、育て、活かす、環境立県とちぎ」の実現に向けて、自ら「行動」するための一助となれば幸いです。